



PAS SION-U

# ヤマハ発動機株式会社 第87期 中間報告書

証券コード:7272

2021年1月1日から2021年6月30日まで



MT-09 ABS



255XE



NMAX ABS





株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第87期第2四半期連結累計期間（以下、上半期）の事業内容をご報告申し上げます。

売上高は9,201億円（前年同期比2,346億円・34.2%増加）、営業利益は1,092億円（同901億円・471.9%増加）、経常利益は1,151億円（同943億円・454.8%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は931億円（前年同期：親会社株主に帰属する四半期純損失28億円）となりました。なお、当上半期の為替換算レートは米ドル108円（前年同期比±0円）、ユーロ130円（同11円の円安）でした。

売上高は、前年3月から新型コロナウイルス感染症が全世界に拡大し、販売台数や生産が減少しましたが、当上半期は、その影響が緩和し全事業で需要が回復したため、増収となりました。営業利益は売上高の増加に加え、販売単価の増加、リモートなどのデジタル活用による固定費削減、貸倒引当金の減少などの結果、物流費や原材料費高騰の影響を吸収し、大幅な増益となりました。

当社は、株主の皆様への利益向上を重要な経営課題と位置付け、企業価値の向上に努めております。配当につきましては、「稼ぐ力を維持しながら、キャッシュ・フローの範囲内で成長投資と株主還元のバランスを取る」ことを主眼に、配当性向30%を目安としております。当期の配当につきましては、業績予想の修正を踏まえ、当期の年間配当金額予想を、配当性向31.2%の年間100円と決議いたしました。

株主の皆様には、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年9月  
代表取締役社長 日高 祥博

## セグメント別の業績

### ● ランドモビリティ 売上高5,959億円 営業利益448億円

先進国二輪車では、コンテナ不足による供給遅延影響がありましたが、欧州での需要回復や、新商品効果により販売台数が増加しました。また、北米ではアウトドア・ファミリーレジャーの活況が前年から継続し、オフロード系モデルの販売好調により販売台数が増加しました。その結果、増収・増益となりました。

新興国二輪車では、全地域で販売台数が前年を上回り、増収・増益となりました。また、プレミアムモデルの販売増加によるモデルミックス改善が進み、インドネシア市場が完全に回復していない中、2019年比較でも増収・増益となりました。

RV（四輪バギー、レクリエーション・オフハイウェイ・ビークル、スノーモビル）では、旺盛な需要が継続しました。部品供給不足などによる生産遅延の影響はあるものの、販売台数が増加した結果、増収・増益となりました。

電動アシスト自転車では、公共交通機関の利用を避ける動きから自転車の有用性が高まり、日本向けの完成車や欧州向けE-kitの販売好調が続き、増収・増益となりました。

### ● マリン 売上高2,059億円 営業利益440億円

新型コロナウイルス感染症の影響から、前年同期は北米のボートビルダーや本社工場が一定期間操業停止した影響を受けましたが、アウトドア需要の活況が続き、先進国を中心に船外機やボートの需要が増加しました。船外機では、世界的なコンテナ不足による船積み遅れの影響はありますが、生産台数の増加により供給量が改善し、販売台数が増加しました。ウォータービークルでは、部品供給不足などによる生産遅延影響により販売台数は減少しましたが、スポーツボートや海外ボートの販売台数は増加しました。その結果、マリン事業全体では、増収・増益となりました。

### ● ロボティクス 売上高592億円 営業利益90億円

アジア（中国・台湾・韓国含む）での販売好調継続に加えて、欧米や日本の販売も回復し、サーフェスマウンターの販売台数が大幅に増加しました。また、ヤマハロボティクスホールディングス株式会社も販売好調に加えて、構造改革の成果が顕在化し、黒字転換しました。その結果、増収・増益となりました。

### ● 金融サービス 売上高236億円 営業利益99億円

市場在庫が縮小した結果、卸販売債権は減少しましたが、小売ファイナンスの増加や貸倒引当金の減少などで、増収・増益となりました。

### ● その他 売上高354億円 営業利益14億円

ゴルフラウンド数の増加によりゴルフカー需要が増加し、販売台数が増加しました。また、汎用エンジンの販売台数も増加した結果、増収・増益となりました。

## 連結業績予想について

半導体等の部品不足、原材料価格の高騰、インドネシア等での新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響はありますが、良好な事業環境が継続する見通しです。

そのような事業環境の下、販売回復や経費削減の継続、為替の円安傾向を踏まえ、売上高・各利益を下記のとおり修正します。なお、この業績予想には、今後の新型コロナウイルス変異株感染拡大による世界的なロックダウン影響は反映していません。

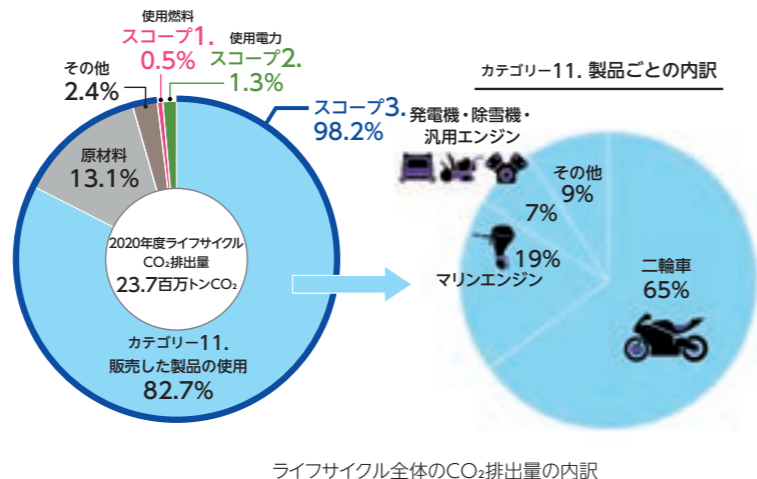
### 2021年12月期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	換算レート(\$・€)	年間配当金
前回予想(2021年5月)	17,350億円	1,300億円	1,350億円	900億円	106・128	90円
修正予想(2021年8月)	18,500億円	1,600億円	1,650億円	1,120億円	109・130	100円
(参考) 前年実績	14,713億円	817億円	877億円	531億円	107・122	60円



## ヤマハ発動機グループ環境計画2050の目標見直しについて

当社の2020年のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は約23.7百万トンであり、そのうち、スコープ3. カテゴリー11. の製品使用時が82.7%を占めています。製品別では二輪車65%、マリンエンジン19%となっています。



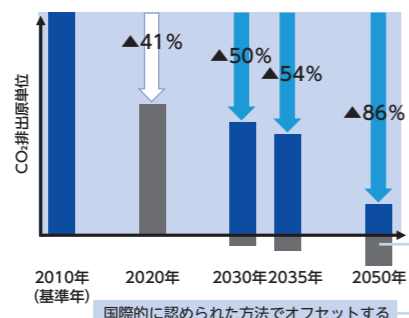
このたび、2018年に策定したヤマハ発動機グループ環境計画2050（以下、「環境計画2050」）のCO<sub>2</sub>排出量の削減目標を見直し、2050年までに事業活動を含む製品ライフサイクル全体\*のカーボンニュートラルを目指す目標を新たに設定しました。

\*企業活動における自社の排出（スコープ1,2.）+スコープ1,2. 以外の排出（スコープ3.）

今回見直しを行う「環境計画2050」は、ヤマハ発動機グループが2050年までに目指す姿（ゴール）、2030年・2035年に到達すべき目標（ターゲット）を設定し、3年ごとの中期計画を策定し活動を推進していきます。

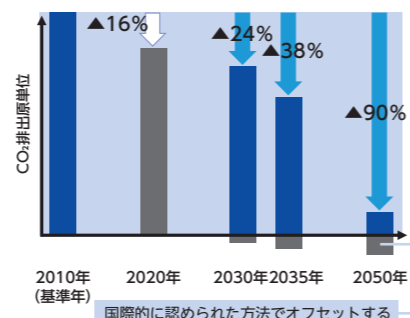
今回の見直しにより、カーボンニュートラルを目指した取り組みをさらに加速し、地球環境への負荷低減と、企業の持続的成長を両立させてまいります。

企業活動における自社の排出（スコープ1,2.）目標



「スコープ1,2.以外の排出（スコープ3.）目標

主に製品群（モーターサイクル、船外機、産業用ロボットなど）からの排出を合計した削減目標



## 当社らしいカーボンニュートラル戦略

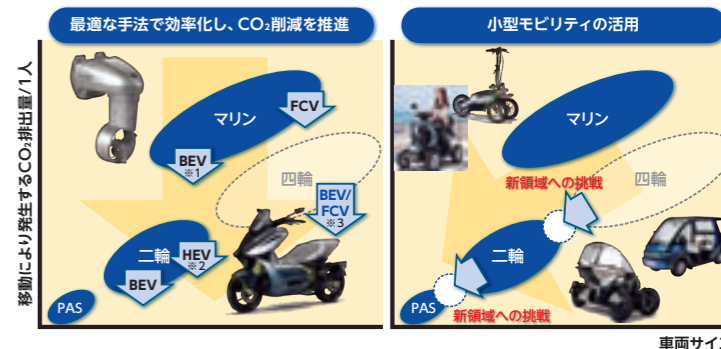
当社では、原材料から製造・使用・廃棄に至るライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量が少なく、環境負荷の小さい小型モビリティの提案を続けてきました。2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向け、二輪車などに加えてヤマハ発動機らしい新たなモビリティを提案し、「新たな価値」を提供し続けていきます。

■基本方針：移動に伴う1人当たりのCO<sub>2</sub>排出量のさらなる低減を目指す

- 効率の良い動力源、よりCO<sub>2</sub>排出量の少ない動力源への切り替え
- CO<sub>2</sub>排出量の少ない小型モビリティの活用推進

■関連資料：「統合報告書2021」をご覧ください

<https://global.yamaha-motor.com/jp/ir/integrated-report/integrated2021/>



## ハイパーEV向け電動モーターユニットの試作開発受託を開始

ハイパーEVをはじめとした高出力帯のモビリティ向けに業界最高クラスの出力密度を実現する電動モーターユニットを開発し、4月から試作開発受託を開始しました。

当社は2020年より四輪車をはじめとするモビリティ向け電動モーター（35～200kW）の試作開発を受託していますが、新たにハイパーEVなど高出力帯モビリティへの搭載を想定した最大出力350kWクラス（動作電圧800V）の電動モーターユニットを開発しました。

今回開発した電動モーターの主な特長は、ギア、インバーターを一体化したコンパクトな機電一体型の電動モーターユニットで、車両へ複数ユニット搭載する用途を想定しています。試作開発受託にあたっては、モーターサイクルをはじめ幅広い製品群に柔軟に対応してきた鍛造・加工・組立を中心とした生産技術、試作設備等を活用し、顧客要望に沿った試作モーター開発を短期間で実現します。



専用アプリで“つながる”スクーター「NMAX ABS」を発売

欧州や日本で人気の「MAXシリーズ」のDNAを受け継ぎ、その特徴である斬新なスタイルやスポーティな走りをコンパクトなボディに凝縮。通勤や街乗りなど、市街地の移動における快適性を追求したシティコミューターです。

主な特長は、着信通知や燃費管理が可能なスマートフォン専用アプリ当社国内モデル初対応、トラクションコントロールシステムを採用した平成32年排出ガス規制適合の新「BLUE CORE」エンジン、静かなエンジン始動/再始動を可能にする「Smart Motor Generator system」、低燃費に貢献する「アイドリングストップシステム」、スタイルと機能性をバランスさせた新フレームと快適な乗り心地を支える前後サスペンション、信頼性と質感の高さを表現したスタイリングなどです。



プレジャーボート「AX220」

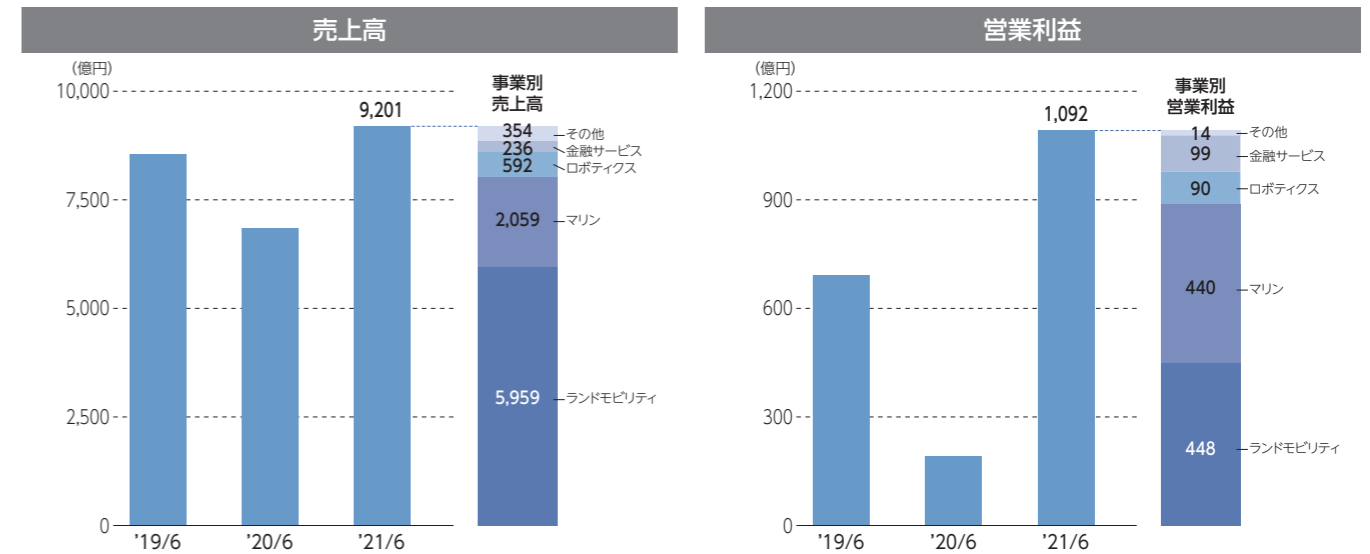
多彩なボートینگ、マリンプレイに対応するマルチボートです。

新たな船型を採用しながらスケールアップを行い、快適な乗り心地と操船性の向上を高いレベルで実現しました。さらに風流れ抑止性能、有効な釣りスペースの確保など、フィッシングボートとしての高機能性も実現しています。

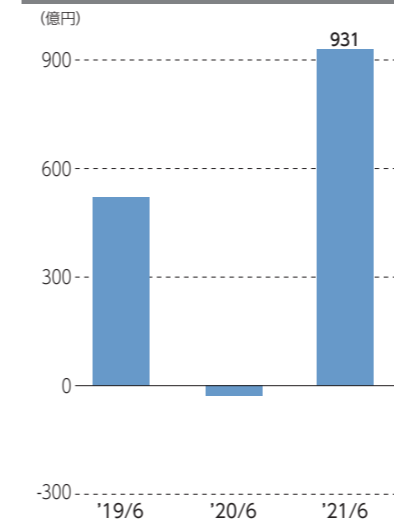
また、十分な釣り座スペースを確保するデッキ&フロアレイアウトを採用したうえで、7名の定員が快適に乗船できるスペースを提供します。さらに、豊富なオプションを設定するなど、細部にわたって快適性を追求しました。「AX220」は、ヤマハマリンクラブ「シースタイル」のクラブ艇としても導入を予定しており、各地のホームマリーナに順次配艇の予定です。



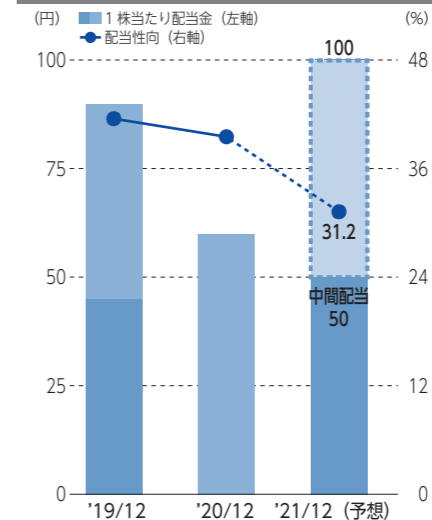
連結業績（第2四半期連結累計期間）の推移



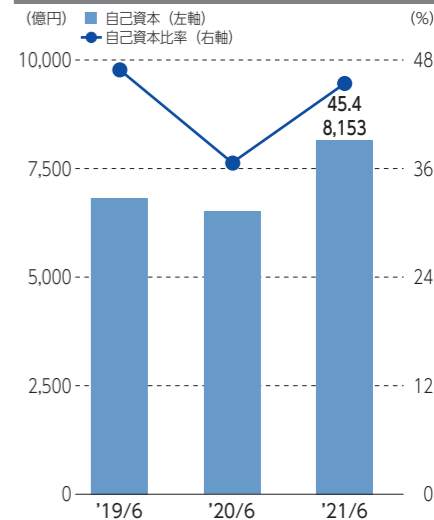
親会社株主に帰属する四半期純利益



1株当たり配当金・配当性向（年間）



自己資本・自己資本比率

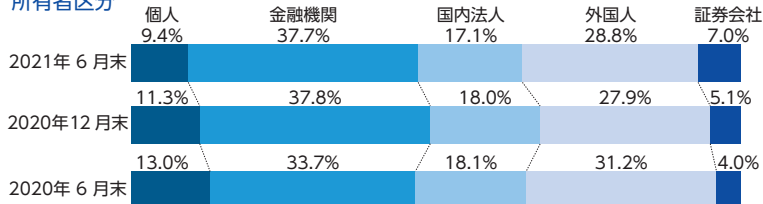


## 株式情報 (2021年6月30日現在)

発行可能株式総数 900,000,000株 発行済株式総数 350,217,467株

株主数 68,943名

### 所有者区分



(注)「個人」には自己株式が含まれています。

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	40,405	11.56
ヤマハ株式会社	34,642	9.91
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	20,011	5.72
トヨタ自動車株式会社	12,500	3.58
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	10,897	3.12
SMBC日興証券株式会社	9,490	2.71
株式会社みずほ銀行	8,277	2.37
JPモルガン証券株式会社	6,209	1.78
株式会社静岡銀行	5,649	1.62
株式会社日本カストディ銀行 (信託口9)	5,592	1.60

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

## 役員 (2021年6月30日現在)

取締役会長	柳 弘之
代表取締役社長	日高 祥博
代表取締役	渡部 克明
取締役	山地 勝仁
取締役	大川 達実
取締役	丸山 平二
社外取締役	中田 卓也
社外取締役	上釜 健宏
社外取締役	田代 祐子
社外取締役	大橋 徹二
常勤監査役	廣永 賢二
常勤監査役	齋藤 順三
社外監査役	米 正剛
社外監査役	河合 江理子

## 株主インフォメーション

事業年度	1月1日から12月31日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当：12月31日 中間配当：6月30日
定時株主総会	3月
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告によります。ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
各種お問合せ先	〒168-0063
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社全国本支店

### お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申出先
  - 証券会社に口座を開設されている株主様  
お取引先の証券会社等にお申出ください。
  - 証券会社に口座がなく、特別口座に記録されている株主様  
特別口座を開設している下記の口座管理機関にお申出ください。  
口座管理機関：三井住友信託銀行株式会社
- 配当金のお受取りについて  
配当金の支払期間が過ぎた場合でも、支払開始の日から3年以内はお受取りいただけます。株主名簿管理人にお申出ください。支払開始の日から3年を経過した場合、当社定款の規定によりお受取りいただけませんのでご注意ください。

## ヤマハ発動機株式会社

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地

電話 0538-32-1145

<https://global.yamaha-motor.com/jp/>

